

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画4か年の評価・提案 案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2022 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2023 年 ○月

目 次

1	はじめに	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議の活動実績	5
	(1) 活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③広報・見える化部会	
	④調査部会（現地調査）	
4	横浜みどリアップ計画 4か年の評価・提案	16
	◆計画の体系	
	◆各計画の柱のハイライト	
	◆評価・提案の概要	
	(1) 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	22
	施策1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	
	(2) 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	32
	施策1 農に親しむ取組の推進	
	施策2 地産地消の推進	
	(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	42
	施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	
	施策2 緑や花に親しむ取組の推進	
	(4) 効果的な広報の展開	50
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿	56
6	市民推進会議委員からのコメント	59
7	市民推進会議広報誌「Yokohama みどリアップ Action」、 「森づくり体験会」の案内チラシ	●

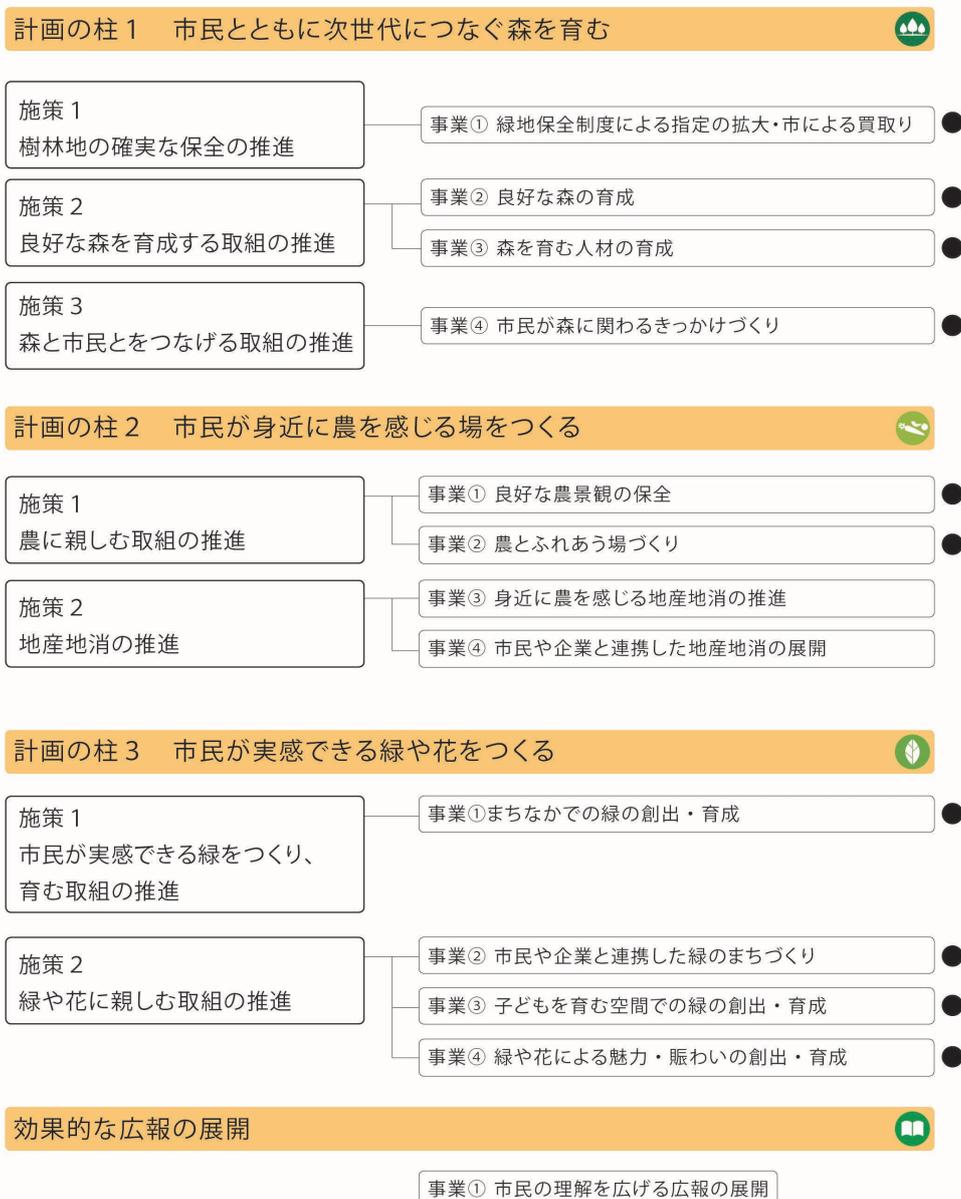
4 施策ごとの評価・提案

市民推進会議では、横浜みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む(「森を育む」)」、「市民が身近に農を感じる場をつくる(「農を感じる」)」、「市民が実感できる緑や花をつくる(「緑をつくる」)」の施策と、横浜みどりアップ計画を市民の皆さまに周知するための「広報・PR」について、現地調査で活動団体などからいただいた意見も踏まえて、評価・提案を行いました。

なお、横浜みどりアップ計画で進めている事業・取組には、横浜みどり税の導入時に定めた用途に沿って横浜みどり税を充当している事業・取組と、横浜みどり税を充当せずに進めている事業・取組がありますが、市民推進会議では市民の皆さまが負担している横浜みどり税を充当している事業・取組を中心に評価・提案を行いました。

◆計画の体系

●：横浜みどり税を充当している事業・取組



◆各計画の柱のハイライト

2022年度の実施状況について、これまでの実施状況とあわせて振り返ります。

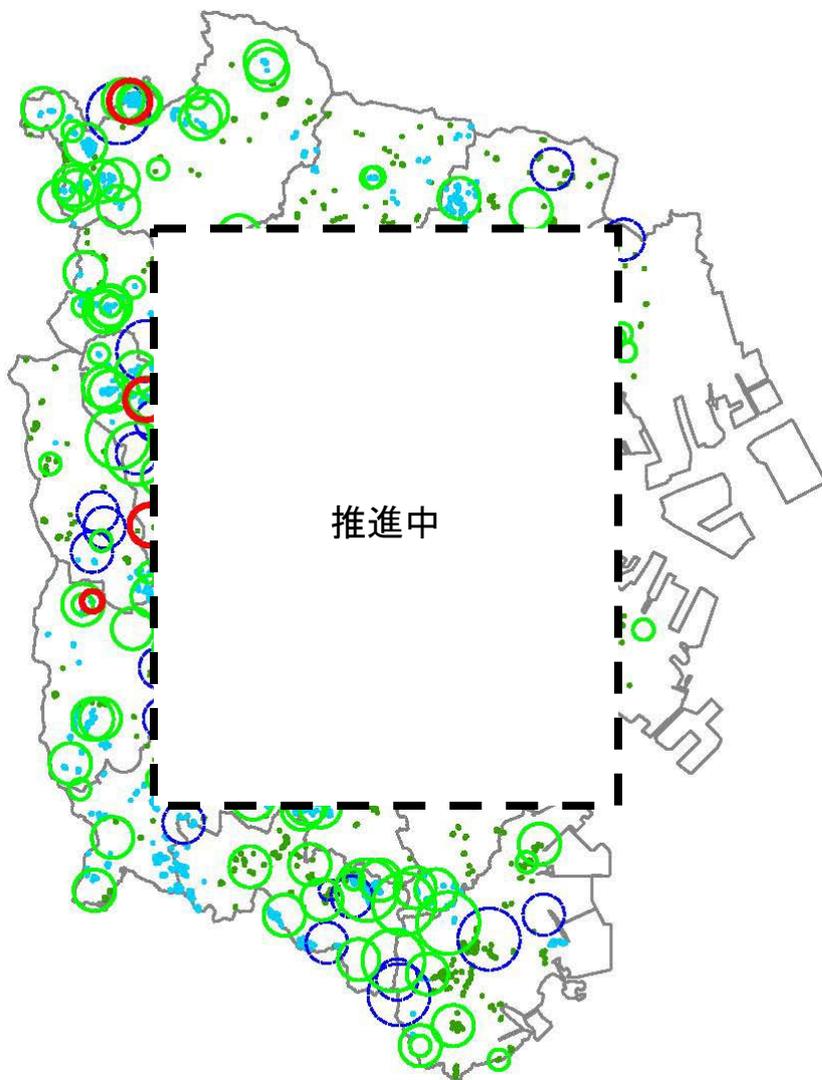


計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

緑地保全制度による指定の拡大が進んでいます

特別緑地保全地区などの緑地保全制度による指定は、緑のネットワークの核となるまとまりのある樹林地を中心に土地所有者へ働きかけを行い、2009年度から2021年度の13年間で約〇〇〇ha、2022年度は〇〇〇ha指定されました。

<緑地保全制度による指定の状況>



<凡例>

都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法に基づく指定地区 (特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区)			
■2008年度以前指定地区			
1ha	1ha以上 10ha未満	10ha以上	
■2009～2020年度指定地区			みどりアップ 期間中の指定
1ha	1ha以上 10ha未満	10ha以上	
■2021年度指定地区			本報告書で 評価対象と なる実績
1ha	1ha以上 10ha未満	10ha以上	
市の条例に基づく指定地区			
● 緑地保存地区 (市街化区域の身近な樹林地を保全する制度)			
● 源流の森保存地区 (市街化調整区域の良好な樹林地を保全する制度)			

2023年3月末現在



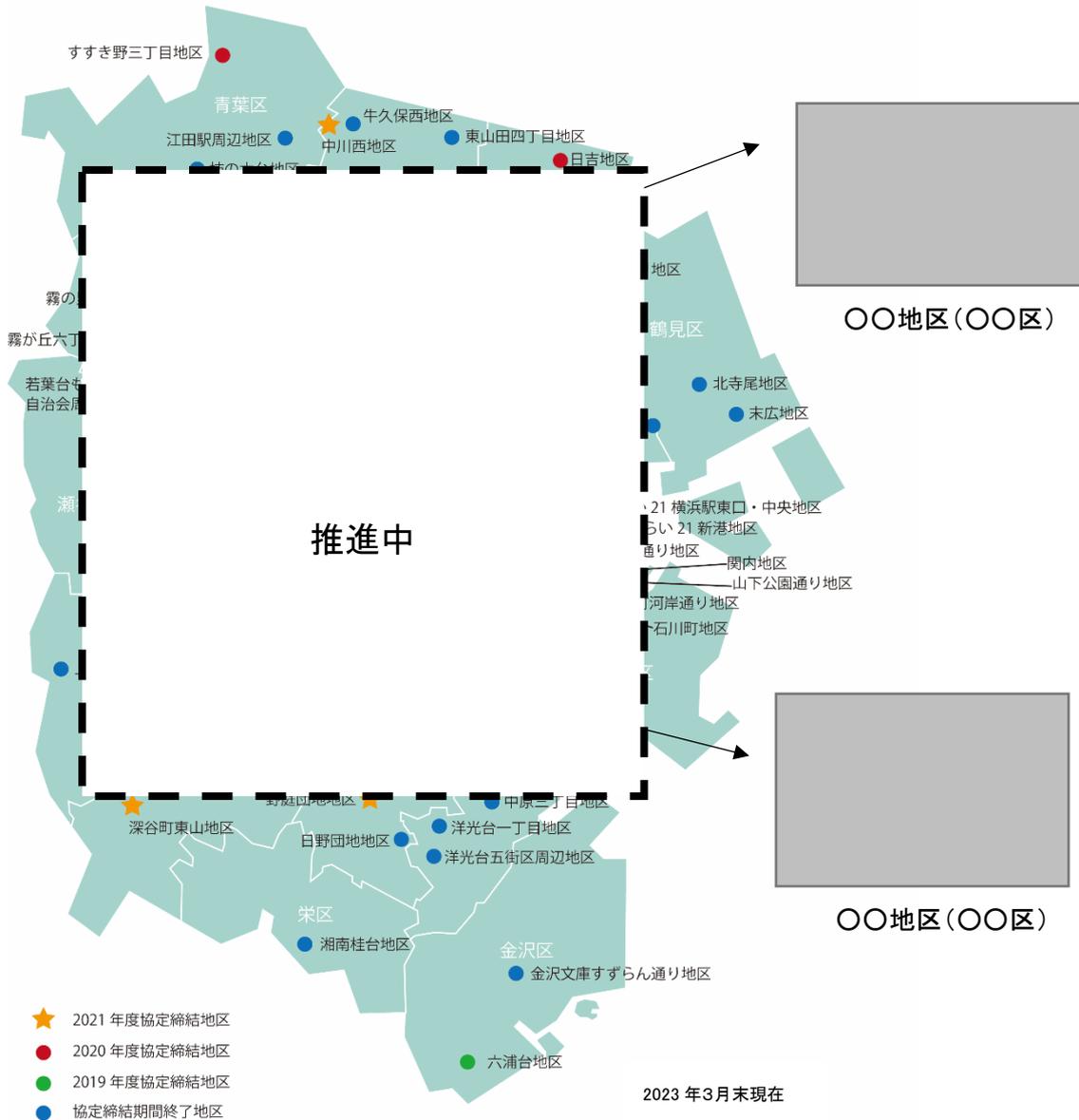
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

緑のまちづくりが進んでいます

市内各地で様々な緑をつくる自主的な活動が行われ、2009年度から2021年度の13年間で市内62地区において、魅力ある緑のまちづくりが進んでおり、2022年度は新たに5地区で緑化の取組が進みました。



<地域緑のまちづくり実施地区一覧>



※横浜みどりアップ計画の詳細な実績については、「4か年(2019年度～2022年度)の事業・取組の評価・検証」をご覧ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midoriup/jigyoku_houkoku.html

◆評価・提案の概要

「計画の柱1:市民とともに次世代につなぐ森を育くむ」については、〇〇

「計画の柱2:市民が身近に農を感じる場をつくる」については、〇〇

「計画の柱3:市民が実感できる緑や花をつくる」については、公有地・公共施設での緑化や、公有地によるシンボリックな緑の創出など、多くの市民の目にふれる場所での緑の創出・育成が進んでいます。また、保育園・幼稚園・小学校などでは、子どもたちが身近に緑に親しむ空間づくりが広がり、緑や花、生き物とふれあう体験につながっています。

緑や花に親しむ取組では、地域緑のまちづくりをはじめ、地域活動による緑の取組が着実に広がっています。また、各区で市民・企業等と連携した様々な取組が進められ、緑や花への関心や市民参加が全市的に広がっており、緑あふれる魅力的なまちづくりに欠かせない市民力が育まれています。

横浜で開催される 2027 国際園芸博覧会を、市民力をいかした横浜ならではの緑や花の取組を示す機会と捉えながら、これまでの成果や課題を踏まえ、緑や花の取組が今後も充実・発展されていくことを期待しています。

「効果的な広報の展開」については、〇〇

(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成

みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

●実績

項目	2022年11月末時点		4か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成				
緑の創出	7か所	11か所(予定)	32か所(予定)	36か所
緑の維持管理	推進	47か所(予定)	207か所(予定)	推進
取組(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成				
並木の再生	2路線	3路線(予定) (0路線完了・ 3路線整備中)	9路線 (6路線完了・ 3路線整備中)	10路線
空き枿の補植	推進	—	—	推進
良好な維持管理	18区で推進	—	—	18区で推進
取組(3) シンボリックな緑の創出・育成				
公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理	推進	緑の創出:2か所 (整備中 2か所) 緑の管理:2か所	緑の創出:3か所 (整備完了 1か所 整備中 2か所) 緑の管理:8か所	推進 (想定箇所:継続2か所、 新規2か所)
公開性のある緑空間の創出支援	推進	1か所	5か所	推進 (想定箇所:10か所)
取組(4) 建築緑化保全契約の締結				
建築物緑化保全契約の締結	制度運用	7件	59件	制度運用
取組(5) 名木古木の保存				
名木古木の保存	推進	新規指定:1本 維持管理助成:63件	新規指定:67本 維持管理助成:257件	推進



公開性のある緑空間の創出支援
(港南区)



名木古木(神奈川区)



公共施設・公有地での緑の創出
(港北区 港北区庁舎)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課・道路局施設課)

- 公共施設・公有地での緑の創出・育成では、区庁舎や地区センターなど多くの市民が利用する公共施設で、花壇整備や屋上緑化などの緑化を進めました。また、創出した緑の良好な維持管理も行っています。花と緑のある魅力的な公共施設として緑化を進めることにより、身近な緑を実感できる場所としていきます。
- 街路樹は、道路利用者の安全確保に加え、木陰の形成による暑さ対策や街並みの美しい景観形成など、様々な役割を果たしています。そのため、成長が穏やかな樹木の選択や適切な間隔で再配置するなど、街路樹が健全に生育する環境に配慮して整備をしています。みどりアップ計画での並木の再生では、老木化した桜並木などの地域で愛されている街路樹を更新しています。
- 公有地化によるシンボリックな緑の創出では、2022年度に港の見える丘公園の整備に加え、あらたに(仮称)北寺尾六丁目公園の設計を実施し、多くの市民の目にふれる場所での貴重な緑の創出・育成が進んでいます。
- 公開性のある緑空間の創出支援では、事業所等の緑化整備に際して、市民がまちなかで緑を近くに感じ、実感できる機会の創出が進んでいます。
- 名木古木の保存事業では、維持管理助成は2022年度63本、4か年では計257本となっており、樹木の維持管理が負担となるなか需要が高く、保存の継続につながっています。今後も、利用者に樹木診断や治療、剪定の助成制度をお知らせし、保存に必要な支援をしていく必要があります。

◆施策1についての評価・提案

- 公共施設・公有地での緑の創出や公有地化によるシンボリックな緑の創出では、街の魅力につながる緑が着実に増えてきたことを評価します。引き続きこれらの緑が良好に維持管理され、市民に親しまれていくことを期待しています。
- 並木の再生では、街路樹の健全な生育に配慮した整備が行われ、地域に愛されている並木の更新が進んでいることを評価します。引き続き維持管理により、街並みの美観向上など様々な役割を発揮する良好な育成が進むことを期待しています。
- 公開性のある緑空間の創出支援では、制度を活用した民有地において、市民がまちなかで緑を実感できるような緑空間が創出されています。一方で、4か年実績は想定件数の半数程度となっていることから、制度のターゲットやそのニーズを分析して効果的な広報を行い、市民・事業者への周知・利用につなげていく工夫が必要です。
- 名木古木の保存をはじめ、民有地での維持管理には、負担軽減が重要となるため、制度によって保全・創出した緑が良好に維持されていくよう、より活用しやすい仕組みや必要な支援の内容について検討を深めていく必要があります。



施策2 緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

みどり税

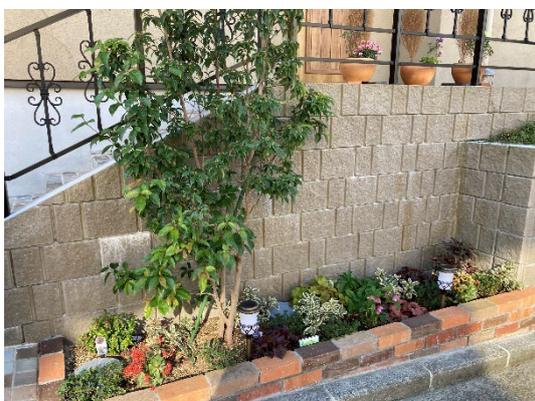
●事業概要(計画書から抜粋)

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

また、第33回全国都市緑化よこはまフェアなど、これまで多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を、引き続き推進します。

●実績

項目	2022年11月末時点		4か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 地域緑のまちづくり				
地域緑のまちづくり	新規6地区	新規5地区 (予定)	新規20地区 (予定)	新規30地区
取組(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり				
緑や花を身近に感じる各区の取組	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進
地域の花いっぱいにつながる取組	推進	推進	推進	推進
取組(3) 人生記念樹の配布				
人生記念樹の配布	8,000本	6,912本	27,022本	40,000本配布



創出された民有地の緑化
(泉区緑園都市地区)
【地域緑のまちづくり】



緑化活動(ラベンダー花壇の管理)
(磯子区磯子三丁目地区)
【地域緑のまちづくり】

●事業概要(計画書から抜粋)

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

●実績

項目	2022年11月末時点		4か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成				
緑の創出	20か所	30か所程度 (見込み)	161か所 (見込み)	100か所
緑の維持管理	推進	80か所程度 (見込み)	417か所 (見込み)	推進



園庭の芝生化
(旭区中希望が丘保育園)



小学校でのビオトープ整備
(鶴見区下末吉小学校)



学校へのビオトープアドバイザー派遣
(鶴見区旭小学校)



校庭・園庭芝生の育て方講座
(保土ヶ谷区保土ヶ谷公園)

●事業概要(計画書から抜粋)

第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。

●実績

項目	2022年11月末時点		4か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 都心臨海部等の緑花※による魅力ある空間づくり				
緑花による空間づくりと維持管理	推進	14か所(予定)	15か所	推進

※緑花(りよくか)とは・・・樹木や芝生などの「緑」と四季折々の彩(いろどり)としての「花」を組み合わせて植栽することで、街の魅力形成や賑わいづくりを行うものです。



緑花の維持管理
(中区港の見える丘公園)



緑花の維持管理
(西区グランモール公園)



花の名所づくり
(旭区こども自然公園)



緑花の維持管理
(中区山下公園)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 地域緑のまちづくり事業では、個別事業説明に加え、新型コロナウイルス感染状況に留意しながら、集合形式の説明会も実施しました。
提案団体には、地域緑化計画策定に向けた支援を行い、2022年度は5団体が選考を通過しました。市民生活に身近な多くの地区で、花と緑のまちづくりの機運が高まっていると感じます。また、協定締結期間が終了する団体からも、地域に緑や花が増えたという喜びの声や、まちなかの緑化を通じて高齢者と子どもなど地域での新しいつながりが生まれたなどの声が寄せられました。一方で、協定期間終了後の活動継続について、担い手の高齢化や活動資金などの課題があり、活用可能な支援の案内などがより重要になっています。
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成では、保育園や小学校等で花壇づくりや記念植樹、園庭・校庭の芝生化を進めています。青々とした芝生に寝転がったり、側転などの運動をしたり、子どもたちが芝生ならではの過ごし方をしています。またビオトープづくりを通して、生きものに触れる機会が増えています。学校では生活科や総合学習などでも効果的に活用されています。
- 緑や花を身近に感じる各区の取組では、身近な公園や地域での花壇づくりやオープンガーデン、ガーデニング講座など、市民・企業等と連携した取組が、全市・地域で広がっています。引き続き、街の魅力向上・賑わいの創出とともに、2027年国際園芸博覧会に向けた機運醸成にもつながっていくよう取組んでいきます。
- 緑花による空間づくりにより、山下公園や港の見える丘公園、日本大通りなど、都心臨海部等で、緑や花による街の魅力や賑わいづくりを進めています。また都心臨海部に加え里山ガーデンなど、ガーデンネックレス横浜として市内外へ発信し多くの市民や来街者に楽しんでいただくことができました。引き続き、18区での取組などと合わせて、ガーデンシティ横浜の魅力を生み出し発信する取組を続けていきます。

◆施策2についての評価・提案

- 地域緑のまちづくりでは、地域活動による緑の取組が着実に広がっています。取組を通じて、地域での新しいつながりが生まれ、花と緑のまちづくりの機運も高まっているようです。活動の継続にあたっての課題も生じていますが、それぞれの団体にあった支援をすることで、引き続き取組を推進してください。
- 緑や花を身近に感じる各区の取組では、オープンガーデンの実施など、地域に根差した様々な取組が市民・企業と連携して進められていることを評価します。引き続き、市民に届きやすい形を工夫し、2027年国際園芸博覧会を契機としながら、緑や花への関心や市民参加の広がりが一層展開されていくことを期待しています。
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成では、5か年目標を大きく上回る実績となっている点の評価します。一方で、維持管理の負担もあることから、創出時点から施設のニーズをくみ取り、支援を行っていくことが重要です。

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

.....

池邊 このみ



6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、緑について日ごろ各委員が感じたことについて、委員の皆さまからもコメントをいただきました。

委員ごとにコメントをいただきます。